

【高等学校用】

令和3年度学校評価

計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている
 B:おおむね達成できている
 C:やや不十分である
 D:不十分である

学校名 佐賀県立唐津商業高等学校

1 前年度評価結果の概要
 ・県内就職は、昨年度75%達成でき大きな成果であった。今年度もコロナ禍ではあるが、この水準を維持できるように努力する。
 ・今年度は、生徒が40人減少。3年間で120人の生徒が減少が見込まれるため、学校の勢いを維持するための方策を工夫する必要がある。

2 学校教育目標
 生徒一人ひとりの能力を伸ばし、幅広い知識と教養を身に付けさせるとともに、ビジネスの確かな知識と技能を習得させ、地域社会や経済社会の発展に寄与できる、心豊かで心身ともに逞しい人材を育成する。

3 本年度の重点目標
 ① 先行き不透明な社会を逞しく生き抜くため、様々な教育活動の中で、幅広い知識と教養を身に付けさせるとともに、豊かな想像力と自由な創造力、またコミュニケーションが円滑に図れる能力を養い、地域に貢献できる人材を育成する。
 ② 県内唯一の会計科を有するという特性を生かし、商業高校における簿記教育の牽引的な役割を担うとともに、高度な資格取得を有する会計人の育成及び資格を生かした進学や就職の実現を目指す。
 ③ ビジネス教育と部活動を核とした魅力ある学校づくりを目指す。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	○基礎学力の向上と定着 ○学力診断・各種適性検査を活用	○家庭学習が定着したという生徒の割合を85%以上とする。 ○学力診断に基づく客観的分析を行い、問題解決できる生徒の割合70%以上とする。	・就職試験に対応できる普通教科の基礎学力定着を重点的に指導する。 ・主体的な進路選択ができるよう、客観的データを有効に活用しながら進路指導を行う。							・進路指導 ・教務
	○確かな知識と技能の習得 ○高度な資格取得	○会計科は、3年次までに日商簿記検定2級を全員取得する。 ○情報処理コースは、3年次までに全商検定で4種目以上の1級を取得する。 ○OAコースは、3年次までに全商検定で2種目以上の1級を取得する。	・商業科目の中で、資格取得の意義を理解させるとともに、資格の活用についても考えさせる指導を行う。 ・資格取得の有用性を考えさせる進路指導を行う。							・商業科
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身につける教育活動	○複数の機会を用いて指導をした教員の割合を90%以上とする。 ○SNSを適切に取扱っているとする生徒の割合を80%以上とする。	・すべての教科・科目、特別活動などの時間において、道徳教育を念頭に置いた指導を行い人や社会の多様性を理解させる。 ・SNSの取扱いや情報モラルについては、特に高い頻度で指導を行う。							・人権同和教育担当 ・生徒指導
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止策について、日ごろから組織的に対応していると考えられる教員の割合を90%以上とする。 ○いじめを許さない教育が行われていると考える生徒の割合を70%以上とする。	・いじめの覚知、認知の定義について、職員会議等で周知徹底するとともに、対応マニュアルの見直しを行う。							・各学年主任 ・教育相談
	○唐津(地元)への愛着を醸成するための教育	○佐賀県や唐津市(地元)に誇りと愛着を感じる生徒の割合を85%以上とする。	・地域の伝統文化に精通している人や地域貢献活動を行っている人を招いて講演会を行う。							
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える生徒の割合を90%以上とする。	・朝食喫食率調査を継続する。 ・手作り弁当を推奨する。							・保健
	○健康診断後の受診率向上	○健康診断後の各検診の生徒の再受診率を60%以上とする。	・健康診断後の受診勧奨と保健指導を継続して行う。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校時間の上限を遵守する。 ○全教職員の時間外勤務時間の上限を意識した働き方の浸透を図る。	・定時退勤日を毎週水曜日に設定する。 ・学校閉庁日を8月7日~16日に設定する。 ・主任会議での提案者説明資料を簡略化し、会議時間の短縮を図る。							・管理職
	○年休取得の促進	○全教職員月1回以上の年休取得を目指す。	・年休取得を呼びかける。(定期考査中や長期休業中に取得促進) ・部活動試合等を計画的に実施する。							・管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	重点取組内容	成果指標(数値目標)								
○地域貢献活動	○地域清掃・イベント活動参加を通して広く地域から支持される生徒づくりの育成	○学校全体で取り組んだり、学年や部活動単位で取り組める活動を、学期に1回以上行う。	・虹の松原、学校周辺の清掃活動を行う。 ・地域行事やイベントに積極的に参加する。 ・部活動単位での活動を推進する。							・特別活動 ・各部活動顧問
○ビジネス教育の育成	○からつ学美舎(インターネット・ショッピング・モール)の活動を通して地域産業への貢献	○未来の唐津を担う人材として社会で活躍できる生徒を育成する。 ○オリジナル商品の開発と出展企業の商品販売の促進に協力する。	・地域の中小企業が生き残るためのアイデアを事業主とともに考えPRできる取り組みを考えていく。							・商業科

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望